

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
16100007	C T画像併用人工関節設計システム開発および複合材料製ステムの製作	座古 勝（大阪大学・大学院工学研究科・名誉教授）	A
<p>形状と組織親和性主体で進められてきた従来の人工股関節研究に、力学的結合の概念を導入したことは、システムの信頼性向上を期待させるものである。今後の関連研究への波及効果も大きいと考えられる。また、患者個別のデータを用い、この分野へのテーラーメイド医療導入の可能性を示したことも評価される。しかし、複合材料製ステムに関する点では解決すべき課題が多く、未だ十分な成果が上げられているとは言い難い。また、真の波及効果と考えられる臨床応用の可能性に向けては、未だ不確定要素がある。今後、産学協同による製品化への発展が期待される。</p>			